

薬の基礎知識(1)

くすりの正しい使い方



日本学校保健会

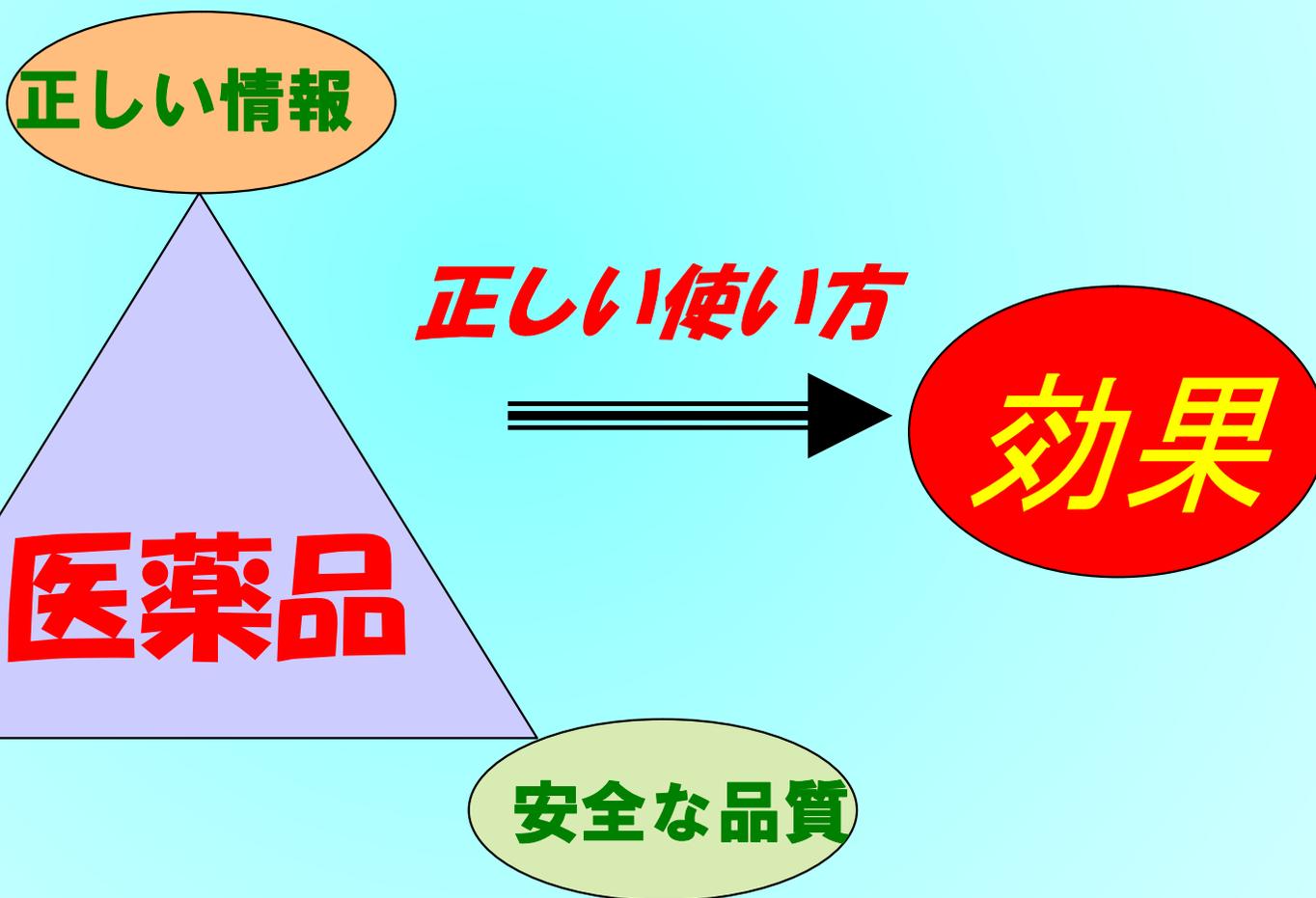
http://www.hokenkai.or.jp/iyakuhin/21medicine_d.pdf



くすい教育

化学物質：**医薬品**、乱用薬物、タバコ、アルコール他

医薬品：化学物質を、**病気やケガを治療・予防**
するために使うようにしたもの



正しい情報

医薬品

有効性

安全な
品質

くすいの役割

⇒サポーター

自然治癒(ゆ)力

ヒトは本来自分でなおそうと持っている

出血→血がとまる(血小板)

病原菌→菌をこわす(白血球)

医薬品 自然治癒力を高め、

病気やケガを早く治すのに

役立つんだ。

原因の排除、症状の緩和、

予防、検査・診断



正しい情報

医薬品

有効性

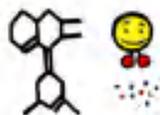
安全な品質

医薬品の候補が実際に薬として使えるようになるまで

期間：9～17年、費用：数十億～数百億円

<くすりができるまで>

くすりの候補



①研究を行いくすりの候補を探します

基礎研究



②試験管や動物で効果や安全性を十分に検討します。



③②で効果・安全性が認められたものについて、まず、少数の健康な人のご協力を頂き、効果・安全性を調べます。

くすりの誕生!!



⑥国に承認されたものが、「新しいくすり」として病院等で広く患者さんに使われます。

国の審査



⑤治験(③・④)の結果は国の審査を受け、これらをパスし承認されて初めて「くすり」として認められます。

治験



④③で効果・安全性が認められたものについて、多くの患者さんのご協力を頂き、効果・安全性を調べます。

販売後調査

市販された後も、安全性などをチェック

当センターでも治験を行っております。興味のある方は、下記までご連絡下さい。

治験推進室：06-6833-5012 (内線：2670)

正しい情報

医薬品

有効性

安全な品質

～薬の効果を知るために～ 薬の旅

口

→食道

→胃（溶解）

→小腸（吸収）

血管（腸管膜静脈

→門脈）

肝臓（代謝）

血管（下大静脈

→心臓→動脈

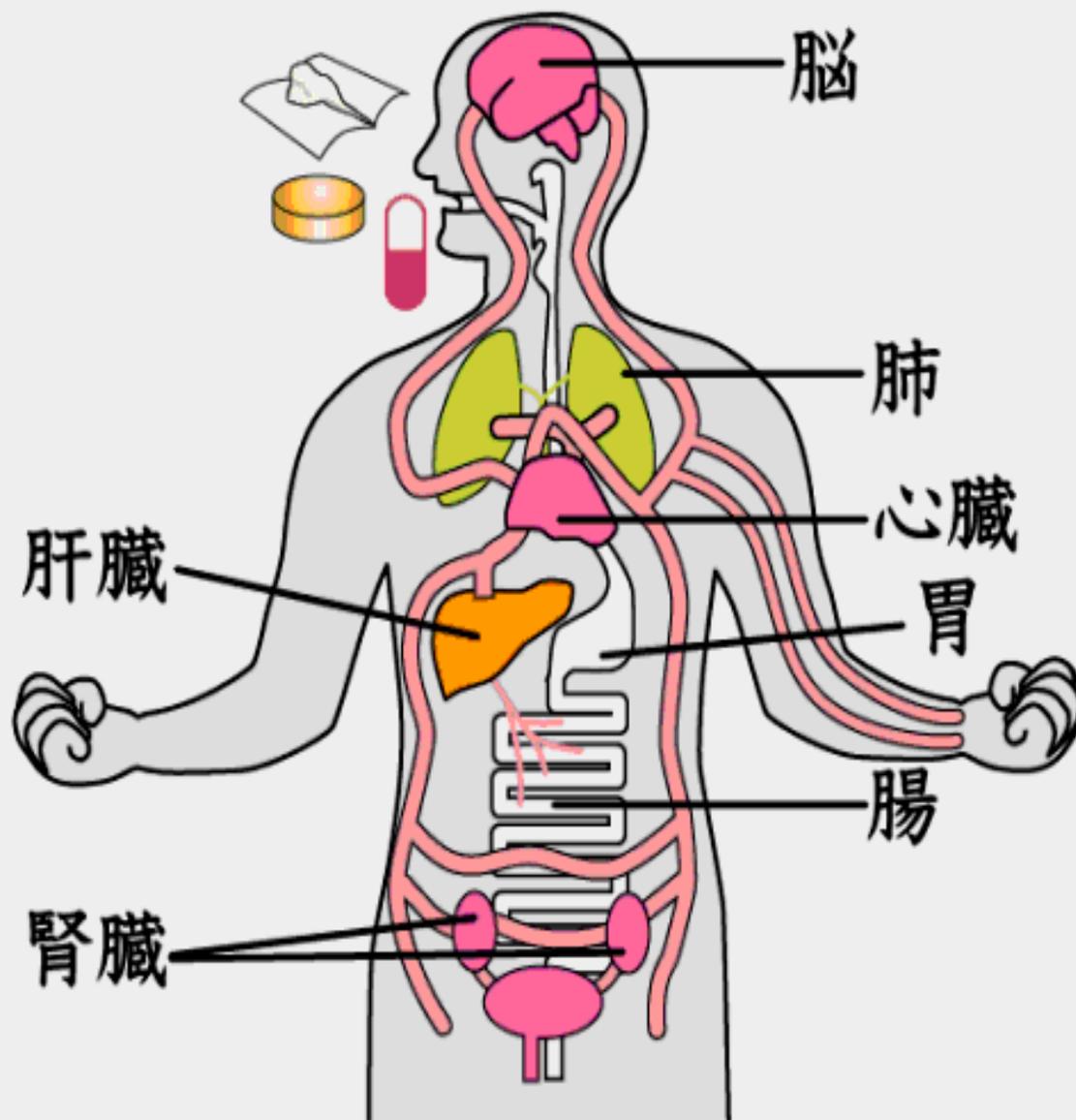
（体内循環）

血中濃度

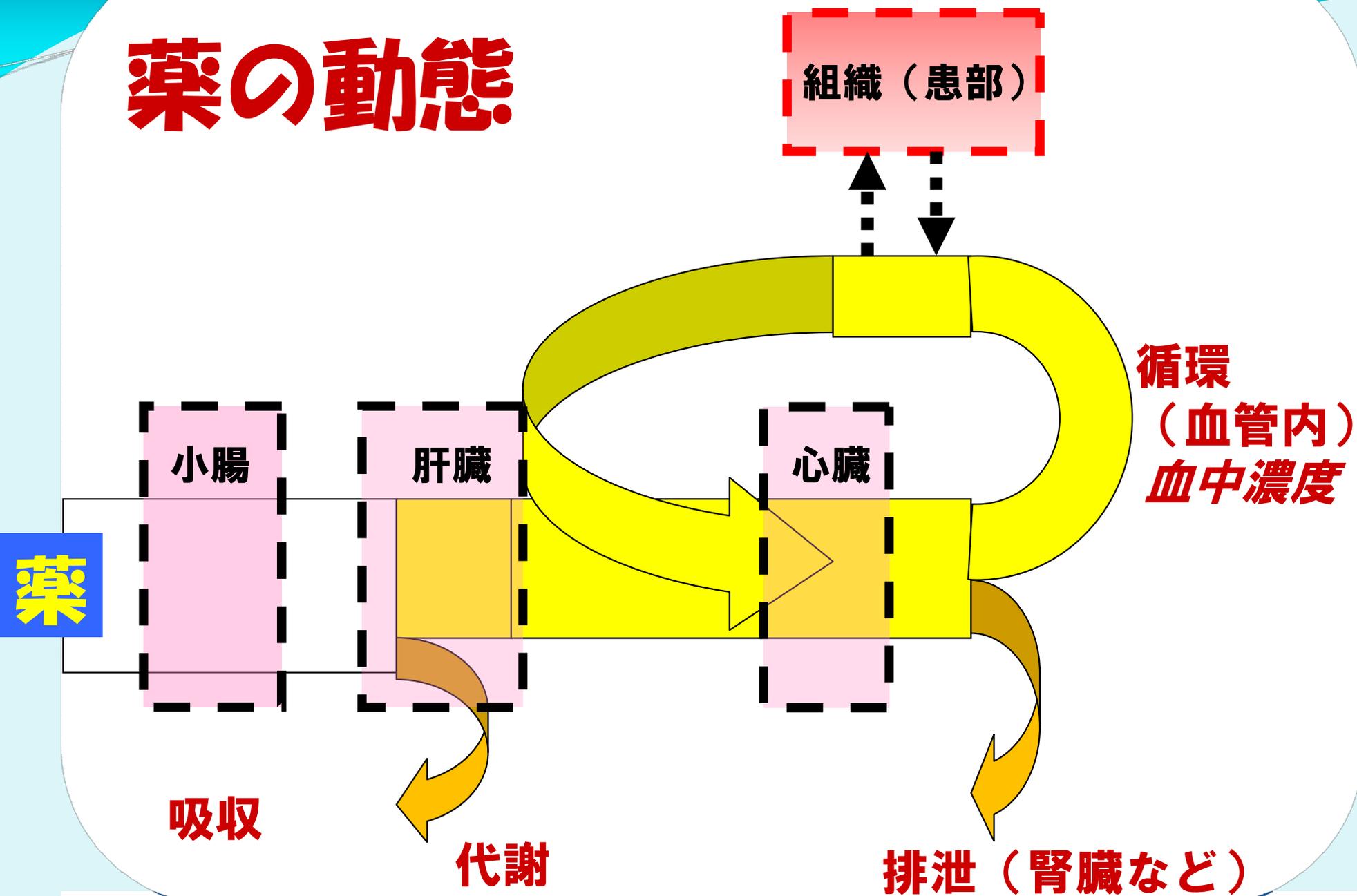
患部（薬効）

肝臓（代謝）

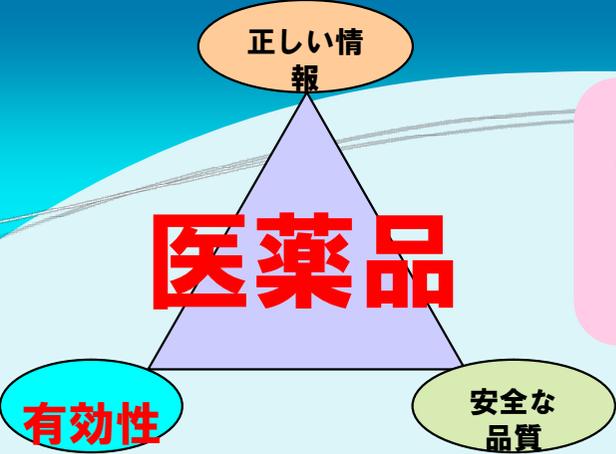
腎臓（排泄）



薬の動態

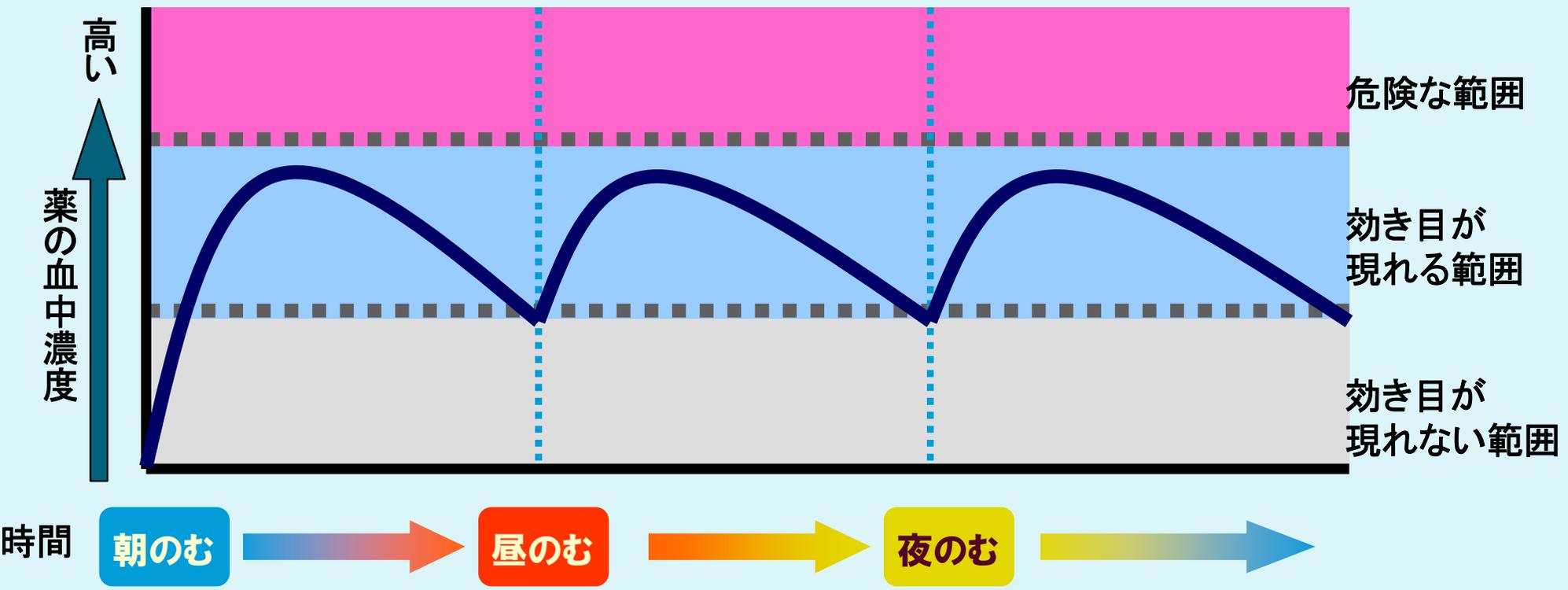


血中濃度は肝臓における代謝や腎臓などからの排泄により徐々に減少する。



くすりが一番働くのは「**血中濃度**」がちょうど良い範囲の時です。

血中濃度：血液の中のくすりの量



正しい情報

正しい使い方

医薬品

有効性

安全な品質

(外箱)

外箱、
説明書
を読む

かぜぐすり2

24カプセル 第2類医薬品

成分・分量 6カプセル中

L-カルボシステイン……………750mg
ブロムヘキシン塩酸塩……………12mg
アセトアミノフェン……………900mg
ジヒドロコティンリン酸塩……………24mg
dl-メチルエフェドリン塩酸塩……………60mg
ジフェニルピラリン塩酸塩……………4mg
無水カフェイン……………75mg
添加物として、グリセリン脂肪酸エステル、プロピレングリコール脂肪酸エステル、中鎖脂肪酸トリグリセリド、ポリソルベート80、セラチン、グリセリン、パラベン、酸化チタン、黄色5号を含有します。

効能

かぜの諸症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み)の緩和

用法・用量

下記の1回服用量を食後なるべく30分以内に服用します。

年齢	1回服用量	1日服用回数
成人(15才以上)	2カプセル	3回
8~14才	1カプセル	
8才未満	服用しないでください	

注意

- 次の人は服用しないでください。
(1)本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。
(2)本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。
- 服用に際しては、説明文書をよく読んでください。
- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。

押して開けてください。

使用期限 2013.1

製造記号 NSAT

副作用救済制度 ☎0120-149-931

製造販売元
東京都

〇〇会社

この商品のお問い合わせは、
電話03-5412-7393までお願い致します。

Ⓐ

薬の分類

一般用医薬品と医療用医薬品

一般用医薬品 = 大衆薬 = OTC医薬品

消費者が自ら薬局・薬店で購入

作用が穏やか、比較的安全

医療用医薬品 = 処方薬

医師の処方せんに基づいて入手

薬剤師による確認、服薬指導

作用が強い、使用には特に注意が必要

一般用医薬品（OTC医薬品）の分類

医薬品の分類	アドバイスする人 (情報提供や相談対応)
第1類医薬品 (特にリスクが高いもの)	薬剤師
第2類医薬品 (リスクが比較的高いもの)	薬剤師 又は
第3類医薬品 (リスクが比較的低いもの)	登録販売者※

- 一般医薬品をリスクの程度によって3つに分類し、専門家がメリハリの利いたアドバイス（情報提供や相談対応）をします。
- 第1類から第3類の別に医薬品の外箱表示やお店での置き方が区別されるので、購入者にもリスクの違いがわかります。
- 情報提供や相談対応する人が、薬剤師か登録販売者かはっきり分かるように、名札の着用を義務化します。

*登録販売者：都道府県で行う試験に合格し登録を受けた専門家



第1類医薬品：OTC医薬品としての使用経験が少ないものや副作用、相互作用などの項目で安全性上、特に注意を要するもの。
第2類医薬品：副作用、相互作用などの項目で安全性上、注意を要するもの。この中で、特に注意を要するものを指定第2類医薬品*とする。
第3類医薬品：副作用、相互作用などの項目で安全性上、多少注意を要するもの。

* 指定第2類の表記：**第2類医薬品**



薬の名称と成分

商品名が同じでも、後ろにつく**言葉、記号**により成分が異なることがある

商品名→	ナロン錠	ナロンエース	ナロンエースプラス	ナロンフレッシュC
成分1→	アセトアミノフェン	イブプロフェン	イブプロフェン	イブプロフェン
成分2→	エテンサミト	エテンサミト	エテンサミト	アリルイソプロピルアセチル尿素
成分3→	フロムワレリル尿素	フロムワレリル尿素	フロムワレリル尿素	カフェイン
成分4→	カフェイン	カフェイン	カフェイン	アスコルビン酸カルシウム
成分5→			乾燥水酸化アルミニウムゲル	チアミン硝化物

薬の名称

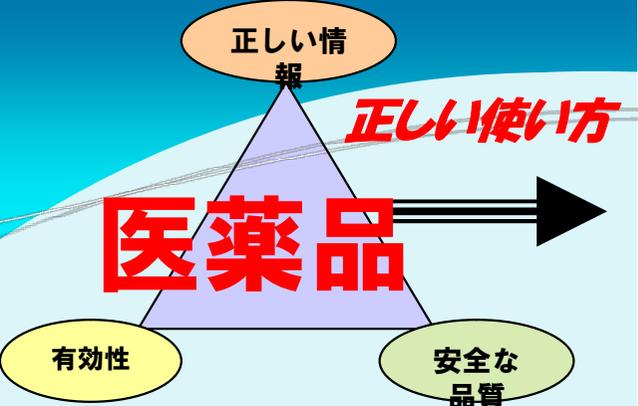
商品名が同じでも、「**小児**」がつく場合
主要成分など異なることがある

バファリン → **アスピリン** + 合成ヒドロタルサイト

小児用バファリン → **アセトアミノフェン**

ノーシンピュア → **イブプロフェン**
+ アリルイソプロピルアセチル尿素 + カフェイン

小中学生用
ノーシンピュア → **アセトアミノフェン**
+ アリルイソプロピルアセチル尿素 + カフェイン



外箱、
説明書
を読む

例) 使用の際には、この説明書を必ずお読みください。必要な時に読めるように保管してください。など

★★★製剤 ○○○錠

例) ○○○錠は、×××を配合し、胃にやさしく、痛みや熱にすぐれた効き目をあらわします。

使用上の注意

(例) してはいけないこと

- ① 次の人は服用しないでください。
 - ・ 以前にこの薬でアレルギー症状をおこしたことがある人。など
- ② 服用後は、飲酒しないでください。など

(例) 相談すること

- ① 医師による治療を受けている人。
- ② 次のような場合は、直ちに服用を中止し、この説明文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。など

効能（効果）

この薬が効く症状などが書かれます。
例) かぜ薬であれば、かぜの症状（咳、痰、鼻づまり、発熱など）

用法・用量

年齢ごとの1回服用量、1日の服用回数など
例) 服用回数 1日3回。1回量は次のとおりです。など

年齢	大人（15歳以上）	15歳未満
1回量	2錠	服用しないこと

・ 用法・用量を守ってください。など

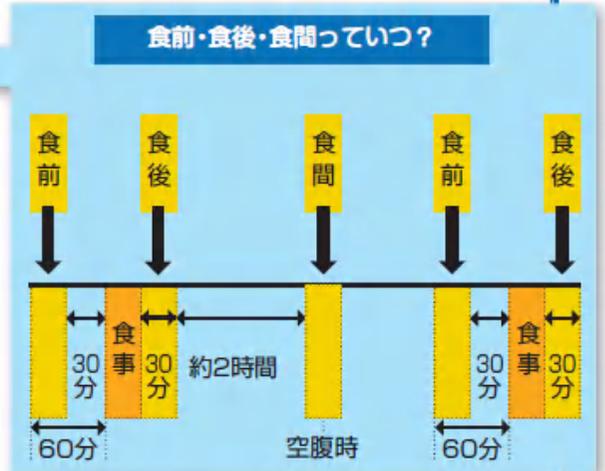
成分

この薬に含まれる成分などの名称や量が書かれています。

保管及び取扱上の注意

例) 小児の手の届かない所に保管してください。
直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。など

製薬会社名 住所など



食前：食事の前 60分から30分
食後：食事の後 30分以内
食間：食事と食事の間

服用前にこの説明書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう保管してください。

頭痛・生理痛・発熱に

痛み止め1

第2類医薬品
(解熱鎮痛薬)

イブプロフェン・エテンザミド配合

- **痛み止め1**は、イブプロフェン・エテンザミドの組み合わせが、さまざまな痛み、熱の症状をおさえます。
- 服用しやすい小型の錠剤です。



使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります)

- ① 次の人は服用しないでください
(1) 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。
(2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
(3) 15才未満の小児。
- ② 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬

- ③ 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください
(眠気があらわれることがあります)
- ④ 服用時は飲酒しないでください
- ⑤ 長期連用しないでください



相談すること

- ① 次の人は服用前に医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 授乳中の人。
- (4) 高齢者。
- (5) 本人又は家族がアレルギー体質の人。
- (6) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (7) 次の診断を受けた人。
心臓病、腎臓病、肝臓病、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病
- (8) 次の病気にかったことがある人。
胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン氏病

- ② 次の場合は、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください

- (1) 服用後、次の症状があらわれた場合。

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振、胃痛、胃部不快感、口内炎
精神神経系	めまい
その他	目のかすみ、耳なり、むくみ

まれに上記の重篤な症状が起こることがあります。
その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮膚、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)等があらわれる。
腎障害	尿量が減り、全身のむくみ及びこれらに伴って悪苦しさ、だるさ、悪心・嘔吐、血尿・蛋白尿等があらわれる。
無菌性髄膜炎	首筋のつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、悪心・嘔吐等の症状があらわれる。 (このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている)
ぜんそく	

- (2) 5～6回服用しても症状がよくならない場合。
- ③ 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください
便秘、下痢

効能

- ◆ 頭痛・月経痛(生理痛)・歯痛・抜歯後の疼痛・腰痛・肩こり痛・筋肉痛・関節痛・打撲痛・ねんざ痛・骨折痛・外傷痛・神経痛・咽喉痛・耳痛の鎮痛
- ◆ 発熱・悪寒時の解熱



用法・用量

次の量をなるべく空腹時をさけて服用してください。服用間隔は4時間以上おいてください。

年齢	15才以上	15才未満
1回量	2錠	服用しないこと
服用回数	1日3回まで	×

- 【注意】
- (1) 定められた用法・用量を厳守してください。
 - (2) 錠剤の取り出し方

図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し表面のアルミ箔を破り、取り出して服用してください。(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります)



このようにお飲みください



成分

成分	分量	はたらき
イブプロフェン	144mg	2つの成分の組み合わせがさまざまな痛み、熱の症状をおさえます。
エテンザミド	84mg	
プロモバルレル尿素	200mg	イブプロフェンとエテンザミドのはたらきを助けます。
無水カフェイン	50mg	

添加物：無水ケイ酸、ヒドロキシプロピルセルロース、セルロース、ヒポメロース、タルク、ステアリン酸Mg、黄色5号

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手のとどかない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れかえないでください。(誤用の原因になったり品質が変わることがあります)
- (4) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。



本品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、又は

〇〇会社
住所
連絡

〇〇会社

副作用被害救済制度のお問い合わせ先

(独)医薬品医療機器総合機構 <http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
電話：0120-149-931(フリーダイヤル)

用法・用量

用法・用量

次の量をなるべく空腹時をさけて服用してください。服用間隔は4時間以上おいてください。

【注意】

(1) 定められた用法・用量を厳守してください。

(2) 錠剤の取り出し方

図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用してください。(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながります)



年 令	15才以上	15才未満
1回量	2錠 	服用しないこと 
服用回数	1日3回まで	

このようにお飲みください

痛みはじめたら
はやめに



大人1回2錠を
コップ1杯の
水又はぬるま
湯で



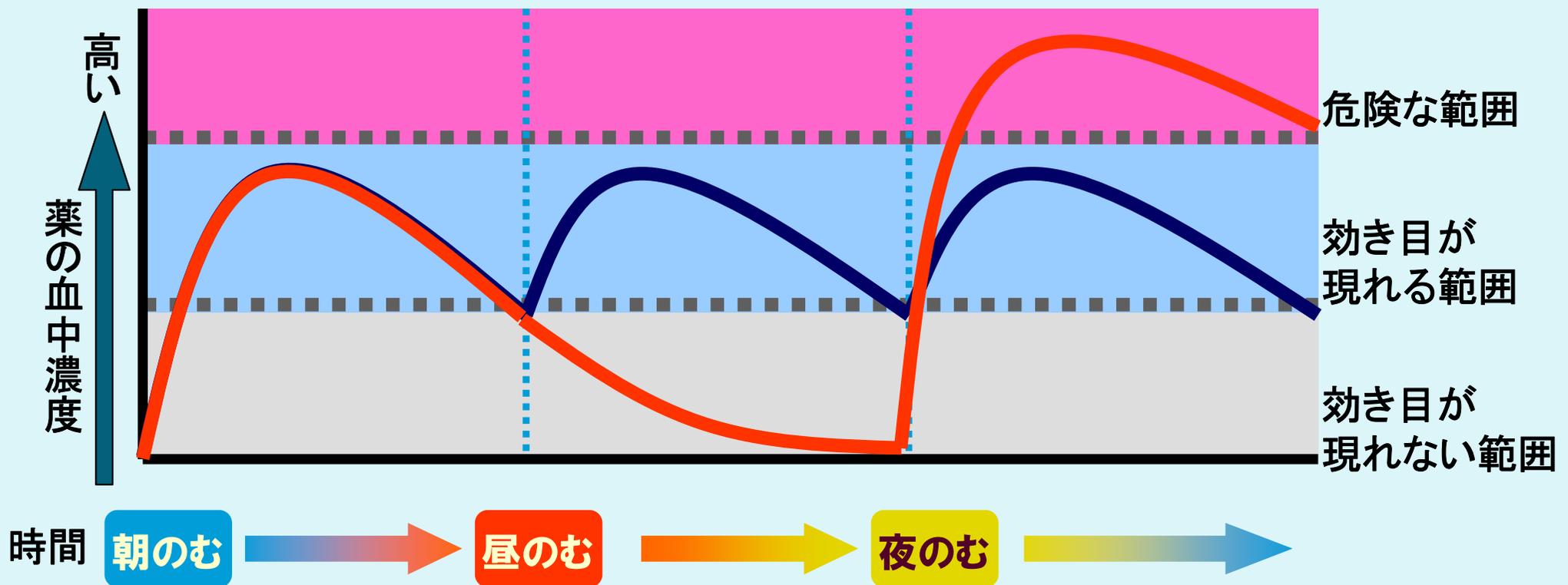
空腹時の服用
をさけるため、
なるべく食べ
物や飲み物を
とってから



～薬の決まりを知るために～ 薬の血中濃度

血中濃度：血液の中のくすりの量

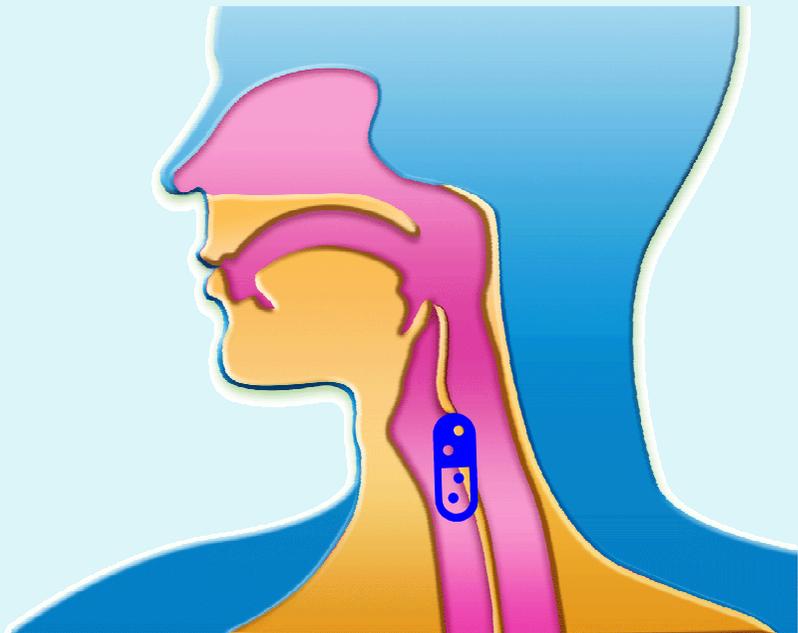
くすりが一番働くのは、「血中濃度」、ちょうど良い範囲の時です。



「効かないからもう1錠」や「痛みが軽いから半分だけのむ」はダメ！！

○コップ1杯の水かぬるま湯で飲もう

水の量が少ないと、のどの途中でとまってはれたり痛くなったりするんだ。



指先と同じことがのどで起こるとカプセルがのどでとけてしまいます。

○水以外の飲み物でくすりを飲んではいけません

- お茶:くすりの効き目が弱くなる
- 牛乳:くすりが効くのに時間がかかる
- コーラ:カフェインが効きすぎたり、
眠れなくなったりする
- ジュース:果汁や野菜汁は効き目を変えてしまいます

○ 前にももらったくすりは使わない！



同じ症状でも原因が違うことがあるし、くすりにも「使用(有効)期限」があるんだよ。

かぜぐすり 2

24カプセル **第2類医薬品**

■成分・分量 6カプセル中

L-カルボシステイン……………750mg
 プロムヘキシリン塩酸塩……………12mg
 アセトアミノフェン……………900mg
 ジヒドロコデインリン酸塩……………24mg
 dl-メチルエフェドリン塩酸塩……………60mg
 ジフェニルピラリン塩酸塩……………4mg
 無水カフェイン……………75mg
 添加物として、グリセリン脂肪酸エステル、プロピレングリコール脂肪酸エステル、中鎖脂肪酸トリグリセリド、ポリソルベート80、ゼラチン、グリセリン、パラベン、酸化チタン、黄色5号を含有します。

■効能

かぜの諸症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み)の緩和

■用法・用量

下記の1回服用量を食後なるべく30分以内に服用します。

年齢	1回服用量	1日服用回数
成人(15才以上)	2カプセル	3回
8~14才	1カプセル	
8才未満	服用しないでください	

■注意

- 次の人は服用しないでください。
 (1)本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。
 (2)本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。
- 服用に際しては、説明文書をよく読んでください。
- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。

使用期限 2013.1

製造記号 NSAT

副作用救済制度 ☎0120-149-931

製造販売 **〇〇会社**
 東京都

この商品のお問い合わせは、
 電話03-5412-7393までお願い致します。

押して開けてください。

○ 他人のくすいを使ってはいけません！

ひとりひとりにあったくすいを、
薬剤師さんが用意してくれてるんだ

その理由は、病気の原因や症状のあらわれ方が、人によって違うから。

他の人のくすいを使うと、効かなかったり、よけいひどくなったりするときがあるよ。



○お酒でくすりを飲んだら いけません！

ぜったいダメ！

くすりの効きめが変わったり、副作用で体がたいへんな状態になってしまうことがあるんだ。

ひどいときは命にもかかわるよ。

保護者にも教えておこう！





相談すること **副作用**



① 次の人は服用前に医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 授乳中の人。
- (4) 高齢者。
- (5) 本人又は家族がアレルギー体質の人。
- (6) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (7) 次の診断を受けた人。
心臓病、腎臓病、肝臓病、全身性エリテマトーデス、混合性結合組織病
- (8) 次の病気にかかったことがある人。
胃・十二指腸潰瘍、潰瘍性大腸炎、クローン氏病

② 次の場合は、直ちに服用を中止し、この説明書を持って医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください

(1) 服用後、次の症状があらわれた場合。

関係部位	症状
皮ふ	発疹・発赤、かゆみ
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振、胃痛、胃部不快感、口内炎
精神神経系	めまい
その他	目のかすみ、耳なり、むくみ

まれに右記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (スティーブンス・ジョンソン症候群)、 中毒性表皮壊死症 (ライエル症候群)	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が、全身の皮ふ、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸(皮ふや白目が黄色くなる)等があらわれる。
腎障害	尿量が減り、全身のむくみ及びこれらに伴って息苦しさ、だるさ、悪心・嘔吐、血尿・蛋白尿等があらわれる。
無菌性髄膜炎	首筋のつっぱりを伴った激しい頭痛、発熱、悪心・嘔吐等の症状があらわれる。 (このような症状は、特に全身性エリテマトーデス又は混合性結合組織病の治療を受けている人で多く報告されている)
ぜんそく	

(2) 5～6回服用しても症状がよくなる場合。

③ 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください
便秘、下痢

副作用が出たときには？

すぐに！近くにいる大人の人に話して、くすりを出したお医者さんや薬剤師さんに聞いてもらおう。

使うのをやめることもあるし、逆に、急にやめてはいけなくすり
は、使い方を変えたりするんだ。

副作用救済制度

かぜぐすり 2

24カプセル 第2類医薬品

成分・分量 6カプセル中

L-カルボシステイン……………750mg
 ブロムヘキシン塩酸塩……………12mg
 アセトアミノフェン……………900mg
 ジヒドロコデインリン酸塩……………24mg
 dl-メチルエフェドリン塩酸塩……………60mg
 ジフェニルピラリン塩酸塩……………4mg
 無水カフェイン……………75mg
 添加物として、グリセリン脂肪酸エステル、プロピレングリコール脂肪酸エステル、中鎖脂肪酸トリグリセリド、ポリソルベート80、ゼラチン、グリセリン、パラベン、酸化チタン、黄色5号を含有します。

効能
 かぜの諸症状（鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み）の緩和

用法・用量
 下記の1回服用量を食後なるべく30分以内に服用します。

年齢	1回服用量	1日服用回数
成人（15才以上）	2カプセル	3回
8～14才	1カプセル	
8才未満	服用しないでください	

注意

- 次の人は服用しないでください。
 (1)本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。
 (2)本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。
- 服用に際しては、説明文書をよく読んでください。
- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。

使用期限 2013.1
 製造記号 NSAT

副作用救済制度 ☎0120-149-931

製造販売元 株式会社
 東京都港 目5番27号

この商品のお問い合わせは、
 電話03-5412-7393までお願い致します。

押して開けてください。

病気を早く治すためには？

病気になりにくい体**を作るには？**



健康三原則

- 適度の運動
- 栄養のバランスの取れた食事
- 十分な睡眠

病気を早く治すためには？

病気になりにくい心**を作るには？**

心の健康五か条

- 自分自身を大切に思うこと
- 物事を前向きに考えること
- 自分なりの目標に向かって努力すること
- 様々なトラブル・心配事にくよくよしないこと
- 家族・友人と何でも話し合える関係を築くこと

今日のお話、
ずっと覚えていてください。

おわり

